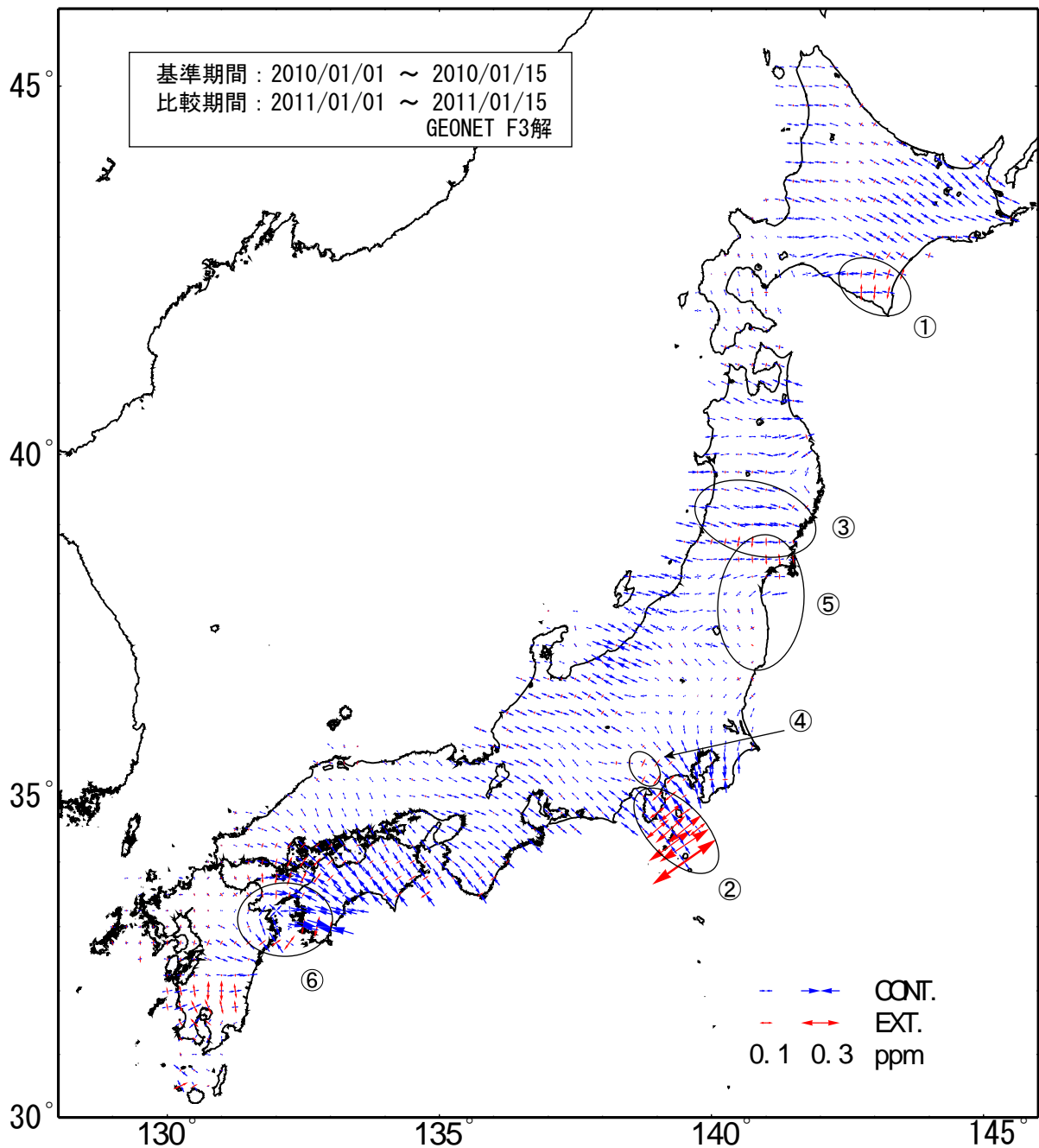


GPS連続観測から推定した日本列島の歪み変化



GPS座標値データに基づいて1年間の歪み変化図を作成した。座標値の15日分の平均値から1年間の変位ベクトルを算出し、それに基づいて歪みを計算している。

上図期間においては、以下のような特徴が見られる。

- ①: 2003年9月26日に発生した十勝沖地震及び2008年9月11日と2009年6月5日に発生した十勝沖の地震の余効変動の影響による歪みが見られる。
- ②: 伊豆諸島周辺の地殻活動に伴う北東-南西方向の伸びが依然として顕著である。
- ③: 2008年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震の余効変動の影響による歪みが見られる。
- ④: 2008年頃から富士・箱根周辺で北北東-南南西方向の伸びが見られる。
- ⑤: 2010年3月14日に発生した福島県沖の地震に伴う地殻変動の影響が見られる。
- ⑥: 豊後水道周辺でスロースリップ現象による地殻変動の影響が見られる。